

令和6年度 本宮市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和6年11月20日（水） 午前10時00分～午前12時00分

2 場 所 本宮市役所 3階 大会議室

3 出席者	市長	高松 義行
	教育長	大内 順一
	教育長職務代理者	谷 明子
	委員	渡辺 俊之
	委員	古宮 博文
	委員	遠藤 傳一郎

4 事務局職員	教育部長	川 名 美和子
	教育部次長兼幼保学校課長	石 橋 淳
	教育部上席参事兼たかぎ保育所長	渡 辺 美 紀
	教育部参事兼国際交流課長	鈴 木 哲 史
	幼保学校課指導主事	坂 本 浩 一
	幼保学校課指導主事	大 野 武 文
	生涯学習部長	国 分 孝 寿
	生涯学習部次長兼文化スポーツ振興課長	根 本 享 史
	生涯学習部しらさわ夢図書館長	柳 沼 志津子
	教育部参事兼管理主事兼指導主事	斎 藤 一 範
	教育部教育総務課長	遠 藤 智 顕
	教育部教育総務課副主幹兼総務係長	野 内 千 恵
	総務政策部次長兼政策推進課長	鈴 木 正 史
	総務政策部政策推進課政策推進係長	佐 藤 光

5 傍 聴 人 なし

6 協 議 事 項

- (1) 学力向上について
- (2) 白沢地区幼稚園の今後の在り方について
- (3) 文化団体連絡協議会加盟団体の減少について
- (4) その他

7 審 議 経 過

【午前10時00分開会】

◇市長 「あいさつ」

【協議事項】（要綱により市長が鈴木総務政策部次長を議事進行者に指名）

◇鈴木次長 （１）学力向上について、教育部長の説明を求める。

◇川名部長 〔（１）学力向上について、大野指導主事に説明させる〕

◇大野指導主事 〔（１）学力向上について説明〕

◇鈴木次長 （１）学力向上について、意見を求める。

◇教育長 市内10校中8校を視察したが、授業はまだ不十分。ICT環境は県内トップクラスだが活用が不足している。タブレット・電子黒板の教育資産が十分に活用されていない。個別最適な学び、協働的な学びという言葉は飛び交うが、現場でイメージできていない。前任校の1年生国語授業では、タブレットを机上に常備し、話し合いも取り入れる授業を実践していた。9年間でICT活用力を身につけるグローイングマップを作成した。写真撮影、文字入力、インターネット活用など段階的に習得させたい。郡山・福島では既に進んでおり、本宮の子どもが高校進学時に遅れを取らないよう、1年生から計画的に実施したい。現状は担任の選択に委ねられ、子どもに不利益が生じてしまう。校長会で話したが担任まで浸透していないため、丁寧に伝えていきたい。

◇遠藤委員 資料を見て愕然とした。都度危機意識を持つべきと申し上げているが、検証する委員会やチームの立ち上げが実現していない。授業改善と家庭学習が重要。個別最適化・協働的・探究的な学びを満たす授業ができているか疑問。教師のレベル向上が課題。指導主事は先生方をしっかり指導してほしい。タブレットの持ち帰りと家庭学習活用が重要だが、実施されていない。宝の持ち腐れなので積極的に活用を。

◇谷教育長職務代理者 学力平均を上げるには下位層の底上げが重要。家庭学習が鍵。秋田の事例では学校と家庭が一体で成功していた。本市は家庭学習を各家庭に任せ、宿題を多く出すだけ。放課後児童クラブでの学習環境整備など、底上げの方策を皆で考えたい。

◇古宮委員 本宮型学校教育をトップダウンで作るべき。学び合いの場を増やす、特設勉強部を作るなど、画期的な本宮ならではの取り組みを検討したい。

◇渡辺委員 数学・英語嫌いの子どもの多く、間口を広げることが課題。二中で見た子どもとのコミュニケーションを重視した授業は素晴らしかった。双方向で考えさせる授業が市内に広がれば学力が向上する。幼児期から明確なビジョンを持たせる教育が必要。大谷翔平のように計画を立て、達成していく本宮型教育を目指したい。

◇市長 教育は移住・定住に影響する。本宮の企業は単身世帯が多く、人口減対策でも教育は重要な選択肢。全国学力調査は指標だが、結果をどう捉えるかが大切。資料に目標値がない。いつまでに何を整えるか、教育委員会の目標が必要。毎年同じでは下がる。常に変えることが大切。教育委員会が明確な目標を示し、本宮プランとして発信すべき。下位層のレベルアップに無料学習塾など先進事例もある。選択肢を準備し市民サービスとして提供することも検討を。各学校の先生方に目標を明確に示すことが大切。

◇教育長 計画にいつまでという期限が抜けている。学校の実態を含めしっかり示したい。本宮の学習プラン・授業プランを作りたい。家庭学習も含め両輪で学力向上するが、授業改善に力を入れたい。現在の授業では来年も同じ結果か下がる。早急に変えれば上向くと確信している。ICT活用も含め充実させたい。

◇市長 子どもたちへの投資は惜しまない。タブレット、電子黒板、耐震、トイレなど学習環境は整いつつある。足りないところを情報共有し、意見を出してほしい。



◇鈴木次長 （２）白沢地区幼稚園の今後の在り方について、教育部長の説明を求める。

- ◇川名部長 〔(2) 白沢地区幼稚園の今後の在り方について説明〕
- ◇渡边上席参事 〔(2) 白沢地区幼稚園の今後の在り方について説明〕
- ◇鈴木次長 (2) 白沢地区幼稚園の今後の在り方について、意見を求める。
- ◇遠藤委員 案1・2・3が示され、踏み込んだ議論ができる。個人的には認定こども園は給食など課題が多い。案②が早く進められそう。案③は新施設で投資が必要。各案のメリット・デメリットを出して議論したい。
- ◇渡辺委員 幼稚園統合には賛成。中学校近くに集め、あだたら憩の家と連携し世代間交流できる施設を作れば相乗効果がある。通わせたくなる夢のある前向きな統合を。
- ◇谷教育長職務代理者 3園の児童数から統合はやむを得ない。送迎は保護者が行うため、場所が変わっても理解は得られる。遠足や運動会など合同行事を重ね、統合への準備を進める形が良い。
- ◇古宮委員 毎回話題になっている。1ヶ月前は和田幼稚園を来年度統合する話だったが、進展状況は。
- ◇川名部長 令和7年度も各園で活動し、事業は合同で行う運営と考えている。
- ◇古宮委員 和田幼稚園も来年度そのままか。
- ◇川名部長 そのように考えている。
- ◇教育長 保育所の所長・園長と面談した。統合ありきではないが、園長から一緒にできないかと自然に話が出た。いつまでにどうするか計画を示したい。市内の幼稚園・保育所で格差のない幼児教育を目指す。白沢の子どもたちに不利益が生じないようにするのが大人の役目。
- ◇市長 来年どの方向で進むか決めてほしい。次年度に説明会・設計、再来年か次年度に建築という目標を立てれば、資金捻出できる。認定こども園ができない理由は、40年程前の幼保一体化教育が残っているため。共通カリキュラムという言葉だけが残し、子どものために何をすることが置き去りになった。できれば来年度、遅くとも再来年度中に決めてほしい。場所・形態を含め案を出してほしい。給食は年3～4回テストしアンケートを取り、8割強が希望しているため来年度実施予定。新施設では保育園同様の給食提供ができる。アレルギー対策、栄養士配置など考え、同じサービスで特色ある施設を作りたい。遅くとも来年度上半期に方向性を決め、流れを作ってほしい。間違ったら戻ればいい。3案の何を選ぶか、場所、形態を含め、案を出してほしい。



- ◇鈴木次長 (3) 文化団体連絡協議会加盟団体の減少について、生涯学習部長の説明を求める。
- ◇国分部長 〔(3) 文化団体連絡協議会加盟団体の減少について説明〕
- ◇鈴木次長 (3) 文化団体連絡協議会加盟団体の減少について、意見を求める。
- ◇谷教育長職務代理者 加盟のメリットと義務、広報活動を教えてほしい。
- ◇国分部長 メリットは春祭り・フラワーフェスティバル・秋祭りのステージイベントへの優先出場、文化祭での発表の場の提供。広報は防災無線での案内、中央公民館でのPRチラシ作成を確認している。
- ◇谷教育長職務代理者 発表の場は若い世代にはSNSなど他の方法もあり魅力的でない。なくなるものは仕方ない。必要なものは盛んになる。無理に維持する方向性は違うのでは。
- ◇古宮委員 民俗芸能団体は代々受け継ぐべきで、市の手厚い補助が必要。それ以外の団体は減少も仕方ない。発表の場はあまり重要でない。民俗芸能は市でしっかり残し、活動が途絶えないよう補助を。
- ◇遠藤委員 題名が「減少について」でなく「活性化について」で議論すべき。減少は多様化社会でやむを得ないが、民俗芸能は大事。活性化のため補助事業など策を考える必要がある。発表の場提

供など色々な活性化対策を考えたい。

◇渡辺委員 ダンスが若い人に流行している。青年会議所のイベントで2日間で7000人集まった。ダンスサークルを作る、有名講師を呼ぶ、三味線とコラボするなど、活性化の方法は色々ある。

◇谷教育長職務代理者 文化団体連絡協議会は歴史的団体と趣味の自発的グループの集合体か。

◇国分部長 趣味の同好会と民俗芸能保存会が一緒に加盟した集合体。

◇教育長 減少について協議にあげたのは現状を知ってほしいため。会長と話す機会があり、今まで話し合う機会がなかったと聞いた。定期的な話し合いの場を作りたい。加盟団体の周知が不足している。市民が余暇を充実させるため、こういう団体があると知ってもらう材料にしたい。写真に興味ある方が写真団体に入りたいと思えるよう、PRや広告の大切さを感じた。

◇市長 文化祭のオープニングセレモニーを見て愕然とした。会長に教育長と会うよう話した。課題が拾いきれていない。伝統芸能への市のフォローも理解していない。情報が来ず、要望もわからない。事務方としてまとめる必要がある。門戸を広げてもお得感はない。文化団体連絡協議会の発信方法を考える必要がある。防災無線やチラシでは今までと変わらない。加盟団体の増減でなく充実が大事。高齢化社会で70歳まで働く人の受け皿が必要。ダンスは民間が盛んにしてくれた。そういう人たちをどうするか、差別化が必要。全部をまとめる発想はやめるべき。柔軟な発想で提案を。会長と教育長で話し合い、市のバックアップを考える。文化団体連絡協議会という名前は敷居が高い。老人クラブ連合会がまゆみクラブになったように、発想を変えるべき。上部団体がこうだから本宮もこうという考え方はおかしい。柔軟かくしてほしい。



◇鈴木次長 (4) その他について、意見を求める。

◇市長 夢図書館、ふれあい美術館、白沢公民館を改修し周辺が変わった。駅伝が史上最高成績、野球ベスト4、ゴルフ13位。美術館に700人集まった。意見や感想を教えてほしい。

◇谷教育長職務代理者 保育所について最近知ったこと。平日休みの親に対し、先生によっては母子一緒にいる方が良いと言う方がいる。大玉・二本松も同じだが、郡山は言われない。若い世代に住んでほしいなら意識を変える必要がある。郡山と比較され閉塞感を感じさせないように、本宮は住みやすいと思ってもらえる街にしたい。

◇市長 国は誰でも保育園に入れる流れ。本宮はキャパがないが、人口減対策には広げる必要がある。社会動態は3~4年連続増加、郡山から3分の2が転入。地価の安さが理由。保育士を揃え、保育の概念を整理し発信する必要がある。教育長は現場と話し、育児改革・幼稚園改革に取り組んでほしい。

◇渡辺委員 美術館・図書館が整備され県外からも来訪。市内施設が充実している。白沢地区の高木地区は伸びる地域。伸びしろがある市。

◇市長 意識を変えるきっかけが必要。生涯学習、図書館、美術館が色を出してきた。5年で同じにならないよう繋げることが大切。和暮和暮は土日予約率100%、通し75%。県内お試しハウスで最高。東京から移住第1号が出た。視点を変えながらやることで成果が出る。白沢地区は関係人口・交流人口を増やすことが人口減対策の早道。気がついたところがあれば教えてほしい。

◇遠藤委員 広域圏で図書館は相互利用できるが、サークルや文化団体は在勤在住者に制限されている。教育分野や生涯学習で本宮市の姿勢を伺いたい。

◇市長 交流は盛んに行われている。広域圏で揃える話でなく、文化的発想で自由にやれる。本宮は福島広域圏にも入っており、もっと自由な形でやっていけるのでは。

◇古宮委員 白沢の秋祭りで図書館前の芝生で子どもが遊んでいた。あのエリアは使い道がある。ス

ページを登録制にし、イベント時に募集すれば若い人のダンスサークルや音楽をやっている人がイベント時に盛り上がる。

◇市長 知事がテラスを見て驚いていた。こんな図書館初めて見たと。司書の知恵が良い。これからもやっていかなければならない。図書館も美術館もいろんなことをやりながら頑張ってもらいたい。最終的には公共交通を使ってほしい。コミュニティバスで来て、2 時間後に迎えに来た車に乗って帰る。おじいちゃん、おばあちゃんが孫を連れて図書館行こうとバスに乗っていく。カードで乗れるバス。そのようなことを最終的には目指している。

◇教育長 福島駅伝の結果が素晴らしかった。解団式で監督やコーチに成績の出た理由を聞いた。印象的だったのは、小学生の段階から本宮はランニングクラブで練習を積んで、長期の育成プランをきちんと持っていたということで、今回の結果が出たのではないかとということ。監督はピークは再来年と言う。プランを持つことはすごい大切。長期、中期、短期をきちんと住み分けして、今後、教育も進めていきたい。白沢中学校の女子バレー部が県大会で優勝した。体育協会に聞くと、スポーツ少年団の段階からきちんと練習をして、個別な練習プランを作っていた結果ではないかという話。繰り返しになるが、きちんと計画を持ってやっていくことが必要。

◇市長 計画を実行するための環境を作ることが大切。決して満足いくものでなくても良い。不満ができるだけ解消できるような環境をいかに作っていけるか。学力も、スポーツもそうだが、環境を作る部分と、それを利用してどう結果を出していく人は、ある程度仕事は違ってくる。お互いがお互いの仕事をしっかりやっていくことで結果が出てくる。ようやく駅伝も結果が出始めてきた。その後どう繋げていくかという新たな課題が出てくる。休みがないが、結果をずっと上がったり下がったりしながら少しずつ上がっていくという仕事は、やっていてやりがいがあるのではないか。仕事も楽しくなってくるのでは。仕事を楽しまないといけない。気が付いたことは、教育部門については教育委員会と一緒にやっていきたい。どんどん事務方に要望をしていただきながら、皆さんの思いを形にしていけるような、そんな教育委員会に教育長中心になっていただければありがたい。

◇鈴木次長 協議を終了する。

【協議終了】

【午前12時00分閉会】